

議事要旨

今回の委員会で空港施設の耐震性の向上及び災害時の空港運用における今後のあり方について審議され、概ね了解が得られた。なお、委員からの主な質問・意見は以下のとおり。

- 仙台空港のように、ボトムアップで災害対策を考える取組が各空港で広がっていくことを期待する。
- 帰宅困難者の受入については、地元の協力も必要ながら、空港においても飲料水の備蓄等最低限のサービスを備えておく必要がある。
- 情報を提供する場合には、その方法だけでなく、どういう情報を提供するかが重要であり、事前に検討しておくことが必要である。
- 空港の混乱を避けるため、ヘリを用いた報道機関の情報収集等は事前に協定を結んでおくことが必要である。
- 緊急輸送拠点となる空港において耐震性を向上する場合、当該空港が存在する地域の地震発生確率等も考慮して、優先度を判断していく必要がある。
- 航空輸送上重要な空港の耐震性の向上は重要であるが、他の空港についても耐震性の向上は確実に推進することを期待する。